

果樹カメムシ類の越冬密度調査結果について

令和4年2月25日
埼玉県病害虫防除所

ナシ、モモ、カンキツなどの果樹を加害する果樹カメムシ類の防除の参考とするために、チャバネアオカメムシなどの越冬密度調査を行いました。

調査の結果、チャバネアオカメムシ（越冬成虫）の捕獲数は、平年よりやや多い状況でした。果樹カメムシ類は、地域によって越冬密度が異なり、局所的に多く飛来することがあります。

また、気象条件によっては発生時期が早まることがあるので、今後当所が発表する予察灯、フェロモントラップの誘殺数をよく確認して、初期飛来に注意して適切に対応してください。

1 調査時期

令和4年1月13日～2月7日

2 調査地点

8地点（表参照）

3 調査方法

- (1) 雑木林の南斜面から、1地点につき3か所（各1㎡）の落葉を採取。
- (2) 採取した落葉を温室内（25℃加温）に2週間以上静置し体色が緑化したチャバネアオカメムシ等の成虫数を調査。

4 結果

1地点あたりの平均成虫数 1.13頭、確認地点率 63%とも過去10年で、2番目に高い数値だった(表、図)。



チャバネアオカメムシの成虫
(体長10～12ミリメートル)

表 果樹カメムシ類の越冬成虫数

単位:頭

採取地点	チャバネアオカメムシ	その他のカメムシ
東松山市松山	0	
北本市荒井	0	
寄居町鉢形	1	ツヤアオカメムシ 1、エサキモンキツノカメムシ 1 ホシハラビロヘリカメムシ 1
神川町池田	0	
加須市種足	4	
蓮田市高虫	1	カスミカメの一種 1
春日部市内牧	2	エサキモンキツノカメムシ 1
久喜市清久	1	エサキモンキツノカメムシ 1
計	9	—

平均越冬成虫数 (1地点あたり)	1.13	(過去10年の平均虫数 0.58)
確認地点率	63%	(過去10年の平均地点率 29%)

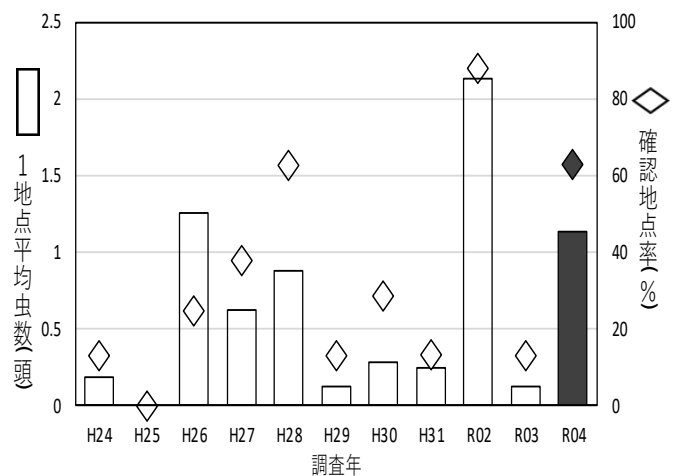


図 チャバネアオカメムシの越冬成虫調査結果